

会よりのお知らせ

○平成6年度光学論文賞受賞候補者の募集

応用物理学会では光学の分野における優秀論文の著作者に対し、下記のごとく光学論文賞を贈ることとしています。光学論文賞規定については、「光学」第22巻第8号526ページをご覧ください。平成4年度からの光学論文賞規定の改訂により、光学論文賞は公募に応じた自薦、他薦の候補者および「光学」掲載論文の著作者から選考されます。

記

受賞対象者：原則として表彰の年に満40歳未満の応用物理学会日本光学会会員。

提出書類：候補者の氏名、会員番号、生年月日、満年齢（公募締切日における）、勤務先、勤務先所在地、自宅住所、連絡先、推薦理由（自薦他薦を問わず、論文の特徴、優れた点等を400字程度でわかりやすく記す）、候補論文別刷2部（コピー可、関連論文があれば別刷またはコピー2部を添付）、他薦の場合は推薦者の氏名、勤務先、勤務先所在地、連絡先。

書類提出期限：平成6年10月31日(月)必着

提出先：〒321 栃木県宇都宮市石井町 2753
宇都宮大学工学部情報工学科
日本光学会庶務幹事 阿山みよし
電話 0286-61-3401 内線 729
Fax 0286-63-2014

○平成6年度日本光学会奨励賞および授賞式

本年度の日本光学会奨励賞は黒川和雅氏（日本電装）ならびに高木康博氏（早大理工、現日大文理）が受賞されることになりました。授賞対象論文は次の通りです。

- 黒川氏：(1) “メチレンブルー増感重クロム酸ゼラチンを用いたフルカラーホログラムの作製”，光学，Vol. 22, No. 7 (1993) 428-433，
(2) “メチレンブルー増感重クロム酸ゼラチンの透過率向上”，光学，Vol. 22, No. 12 (1993) 781-786。

高木氏：“画像処理機能を有する回折型液晶アクティブ光学素子”，光学，Vol. 22, No. 9 (1993) 573-580。

なお授賞式は下記のとおり光学連合シンポジウム浜松'94 (JAPAN OPTICS '94) の会場にて行われます。

日 時：平成6年9月22日(木) 13:10~13:30

場 所：クリエート浜松（浜松市）

○研究グループの募集

平成7年度より設立を希望する研究グループを募集いたします。本号「会よりのお知らせ」の最後に掲載の研究グループ内規をご覧の上、同内規2項にしたがってお申し出ください。応募および不明な点の照会先は庶務幹事、阿山みよし（〒321 栃木県宇都宮市石井町 2753 宇都宮大学工学部情報工学科，電話 0286-61-3401 内線 729 e-mail: nakatsue@isso4.infor.utsunomiya-u.ac.jp）です。

○平成6年度第1回常任幹事会

平成6年7月8日(金)に東京、一番町の日本写真機光学機器検査協会会議室において開催され、庶務、会計、「光学」の編集、日本光学会奨励賞選考経過、サマーセミナーおよび光学連合シンポジウム浜松'94等の講演会の準備状況、冬期講習会企画、日本光学会（応用物理学会）規則の一部改定、平成7年度予算などについて報告と審議が行われました。

○平成6年度第2回編集委員会

平成6年7月5日(火)に東京、本郷の東京大学山上会館において開催され、論文投稿・審査状況の報告、「光学」第23巻第5号までの企画と編集状況についての報告と審議が行われました。

○第55回応用物理学会学術講演会のお知らせ

期 日：1994年9月19日(月)~22日(木)

場 所：名城大学

名古屋市天白区塩釜口 1-501

問合せ先：〒102 東京都千代田区九段北 1-12-3

九段北ビル

応用物理学会講演会係

電話 03-3238-1044

○光学連合シンポジウム浜松'94のお知らせ

1994年9月22日(木)、23日(金)に浜松市のクリエート浜松で開催が予定されています。プログラム等の詳細は第23巻第8号巻頭綴込みの案内をご覧ください。

○ カラーフォーラム JAPAN '94 のお知らせ

1994年10月26日(水)~28日(金)に東京、西新宿の工学院大学ホールにおいて開催されます。第1日目は色覚、測光・測色、色再現、表色系についてのチュートリアル講演、第2日目と第3日目は、各々「カラーマネージメント」および「肌の演出」に関するパネルディスカッションと一般講演が予定されています。詳細は第23巻第5号巻末綴込みの案内をご覧ください。

○ 第25回画像工学コンファレンスのお知らせ

1994年12月7日(水)~9日(金)に東京、芝公園のABC会館ホールにおいて第25回画像工学コンファレンスが開催されます。詳細は第23巻第5号巻末綴込みの案内をご覧ください。

○ 光コンピュータ研究グループよりのお知らせ

- 光コンピュータ研究会・新画像システム研究会合同インフォーマルミーティング

日時: 1994年9月20日(火) 18:00~20:00

場所: 応用物理学会会場

演題: 超並列コンピュータとその応用

野村宣生 (日本 IBM)

参加費: 1,000円

問合せ先: 〒227 神奈川県横浜市長津田町 4259

東京工業大学工学部情報工学研究施設

大山永昭

電話 045-924-5177 Fax 045-921-1492

○ 微小光学研究グループよりのお知らせ

- 第53回微小光学研究会

日時: 1994年10月17日(月) 9:50~17:00

場所: (株)富士通研究所岡田記念ホール

電話 044-777-1111 (大代表)

〒211 神奈川県川崎市中原区上小田中 1015

JR 南武線武蔵中原駅下車徒歩2分

テーマ: これからのディスプレイと微小光学

演題: 1) 三次元表示

桑山哲郎 (キャノン)

2) 壁掛けテレビの現状 (仮題)

未定 (NHK)

3) 3Dカメラと立体プリント

藤田雅己 (コニカ)

4) 人工現実感

廣瀬通孝 (東大)

5) AOM 方式立体ディスプレイ

吉川 浩 (日大)

6) 3D プリンター

本田捷夫 (千葉大),

山口雅浩 (東工大)

7) 高輝度高精彩プロジェクター

三好忠義 (日本ビクター)

8) 実時間電子線ホログラフィック干渉顕微鏡

来 関明 (静岡大),

外村 彰 (新技術事業団)

その他、立体テレビ、3次元顕微鏡関連の講演を交渉中です。

プログラムの順序は入れ替わることがあります。

参加費: 一般3,000円, 学生500円 (いずれも資料代を含む) 当日ご持参ください。

参加申込: 不要 (直接会場にお越しください)

問合せ先: 〒211 神奈川県川崎市中原区上小田中 1015

(株)富士通研究所マルチメディアシステム研究所

中島啓幾

電話 044-754-2645 Fax 044-754-2644

○ コンテンポラリーオプティクス/光設計研究グループよりのお知らせ

- コンテンポラリー & 光設計研究グループジョイント研究会

日時: 1994年10月21日(金) 9:30~17:40

場所: 日本女子大学80年館

〒112 東京都文京区目白台 2-8-1

JR 山手線目白駅下車

テーマ: 若手技術者と学生のためのセミナー

「光学系のあゆみと最新の話題」

演題: 1. イントロダクトリートーク

小島 忠 (コニカ)

2. 天体望遠鏡のあゆみーガリレオからすばる望遠鏡までー

高遠徳尚 (国立天文台)

3. 高精度光形状計測—ZYGO システムの原理と応用—

武藤康永 (キャノン販売)

4. ホログラフィック立体像表示—ホログラ

フィックステレオ合成用光学系—

本田捷夫 (千葉大)

5. 顕微鏡の最先端—LSM, NSOM, レーザートラッキング技術など—

河田 聡 (阪大)

6. レーザー走査型モード干渉 (LASMIC) 顕微鏡—LSM+光導波路で超微小段差をみる—

有本理恵子 (ニコン)

7. 視線入力光学系—ムービーボーイ E1への応用—

荒井 崇 (キヤノン)

8. 光ディスク技術—高密度化への道と展望—

米澤成二 (日立)

9. ステッパーの光学系—ULSIを支える光学技術—

水谷英夫 (ニコン)

10. 懇親会

参加費: 会員 3,000円 一般 9,000円 学生 1,000円

問合せ先: 〒182 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1

電気通信大学電子工学科 岡田佳子

電話 0424-83-2161 内線 3442

〒192 東京都八王子市久保山町 2-3

オリンパス光学工業(株)諸隈研究室

樋田博文

電話 0426-91-7502 (直通)

Patric Boyd

- 4) レイクフォレストシンポジウム報告

岡本秀樹 (イメージ情報科学研)

- 5) SAM MUSEUM とホログラム

福田明伸 (SAM MUSEUM)

参加費: 会員無料, 3次元イメージとホログラフィの国際シンポジウム後援団体会員 3,000円, 一般 5,000円

問合せ先: 〒263 千葉市稲毛区弥生町 1-33

千葉大学工学部画像工学科 岡田勝行

電話/Fax 043-290-3470

○ 近接場光学研究グループよりのお知らせ

- 近接場光学研究グループ第2回研究討論会のお知らせと講演募集

日時: 平成6年11月24日(木) 10:00~17:00

研究討論会終了後, 懇親会開催予定

場所: 東京農工大学工学部合同棟会議室

〒184 東京都小金井市中町 2-24-16

電話 0423-64-3311 (代)

JR 中央線小金井駅南口下車徒歩7分

招待講演: 「走査プローブ顕微鏡による光記録」(仮題)

保坂純男 (日立)

内容: 近接場光学に関わる話題 (フォトン STM, 超高密度光記録, 微粒子操作, 極微加工, 計測, 分光, 理論等) のオリジナル研究成果発表, 問題提起, 途中経過, アイデア, 討論, もしくは近接場に限らず著者自身に関連すると判断できる話題を気軽に発表してください。

講演・討論形式: できるだけインフォーマルな討論時間を長くとする予定。めやすとして講演時間15分+討論時間10分

講演予稿は1件あたり6ページ以内で, 図表主体あるいは1ページでも可。

(詳細は申込み後連絡)

参加費: 日本光学会会員 2,000円, 学生 500円, その他 5,000円。

懇親会参加費は別途徴収。

講演申込み方法: 1994年9月30日(金)までに講演題目, 講演者所属, 氏名, 連絡先住所, 電話番号, Fax番号, e-mailアドレスを郵便, Faxもしくはe-mailにて下記申込先までお申込みください。

〒184 東京都小金井市中町 2-24-16

○ ホログラフィック・ディスプレイ研究グループよりのお知らせ

- 平成6年度第3回ホログラフィック・ディスプレイ研究会の予定

日時: 1994年11月9日(水) 14:00~17:00

場所: 千里ライフサイエンスセンター

大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

北大阪急行千里中央駅下車徒歩1分

総合テーマ: 3次元イメージとホログラフィの国際シンポジウム併催

演題 (予定含む, 講演順未定):

- 1) コンパクトホログラム

西原 隆 (凸版印刷)

- 2) ホログラム感光材料

Genandy A. Sobolev

- 3) ステレオグラムテクニック

東京農工大学工学部機械システム工学科
梅田倫弘
電話 & Fax 0423-88-7093 (ダイヤルイン)
e-mail: umeda@cc.tuat.ac.jp

幹事会は3年ごとに各研究グループの申し出にしたがい、可否を検討するものとする。申し出のない場合は、当該研究グループは解散したものとみなす。

○ 日本光学会研究グループ内規

昭和56年4月1日施行

1. 日本光学会内に研究グループを設ける。研究グループは光学およびその周辺の研究分野の研究者間の連絡をはかり、その分野の研究推進に寄与することを目的とする。
 2. 研究グループを設立する場合には、グループ名称、責任者名、目的、事時計画、予定される参加者数および存続期間等を添えて幹事長宛申し出る。
 3. 研究グループの設立および解散は幹事会または常任幹事会の議決による。
 4. 研究グループの存続については、幹事会または常任
5. 研究グループの会合通知等は、原則として機関誌「光学」に掲載する。
 6. 日本光学会会員は、すべての研究会に参加することができる。
 7. 研究グループはその活動のために必要な金額を定められた予算の枠内において日本光学会から受取ることができる。
 8. 研究グループ責任者は毎年12月末までに、その年度の事業報告(会員名簿等を含む)、会計報告、次年度の事業計画および予算を日本光学会に提出しなければならない。
 9. 研究グループの事務は各研究グループにおいて行う

附 則

本内規は昭和59年2月21日より実施する。

会員拡大キャンペーンへの協力をお願い

日本光学会は、光学連合シンポジウムの新設、新しい国際学術誌「OPTICAL REVIEW」の刊行など、近年ますます活発な事業活動を行っております。光関連分野がさらに拡大しつつある現在、日本光学会の一層の発展を目指して、会員拡大キャンペーンを実施中です。皆様のお近くで、光関連分野で仕事をされている研究者、技術者、そして学生の方々に、日本光学会への入会を、是非おすすめさせていただきますようお願いいたします。入会のしおり(申込み用紙付)は下記へ請求してください。

申込み先: 社団法人 応用物理学会分科会 日本光学会

〒102 東京都千代田区九段北 1-12-3 九段北ビル5階
電話 03-3238-1043 Fax 03-3221-6245

「光学」編集局移転のお知らせ

平成6年7月12日より「光学」編集局ならびに「OPTICAL REVIEW」編集部が下記に移転いたしました。ご連絡、論文投稿は下記新所在地あてにお願いいたします。

新所在地: 〒112 東京都文京区小石川 2-23-11 常光ビル7階
電話 03-3814-1363 Fax 03-3814-1362